

YMCA健康福祉専門学校

## 健康福祉ニュース

### ハイライト:

- ・YMCA祭が行われま  
した
- ・就職内定報告！

### 大人の責任

初めて自分達に子どもを授かった時の事を私は決して  
忘れません。神様から大切な命が私たち夫婦に委ねられ  
ました。毎年、子どもの年齢が親としての経験年数である  
この意味をしっかりと受け止めていこうと心に決め、共に  
育ち合うことの大切さに気づかされています。子どもの成  
長は著しいものですが、子どもの命を育む私たちの親とし  
ての責任は、その早さに間に合っているのでしょうか。先  
走ることなく遅れることなくしっかりと向き合っていきたいと思います。



昨今、心痛む子どもの事件が後を絶ちません。その要因の一つに、もしかしたら大人  
達自身の事が最優先で子どもたちと育ち合うという大切なことが後回しになっていることは  
ないだろうかと考えさせられることが多くあります。きっと大人に「そう思いませんか？」と聞  
いたところで、大人ですからその言い訳はいくらでも見つかるのでしょうかね。「仕事が忙しい  
ですから」「働かなければ食べられない」「子どもは放っておいても勝手に大きくなる」「教育  
は学校に任せている」「子どもが悪いのは教育が悪いからだ」「過保護は問題だ！」「何で  
も自分でさせることで自立できるようになる」……。

しかし、子どもたちは親との関わりを求めています。褒められることも、叱られることも、  
何でも良いのです。子どもたち自身に関心を示してくれるのを子どもたちは待っているのだ  
ですから。子どもたちはサインをいつも出しています。そのサインに気づかなくなっている親  
や教師、大人たちが言い訳ばかりしているように感じます。きっと気づいていても気づかな  
いふりをして、何をやるにも自分のことが最優先で親として、教師として、大人として子ども  
たちに伝えなければならない大切な事がすべて後回しになっているように思えてなりません。  
人としての価値観や生き方、そして子どもたちを自立に導く関わりや守り育てるとい  
う「大人の責任」を果たしていない大人になりきれない人達が増えているということはないで  
しょうか。大人達には、自己の都合をそれぞれに持ちながらも将来を担う子どもたちを育て  
るといふ大きな責任があるのです。親として子どもを守り、命を育む責任があるのです。も  
ちろん当然の事として…忘れていない？それとも自分も事で手一杯？

かつては自分を犠牲にしてまでも子どもたちの教育にかけていた大人達がたくさんい  
ました。子どもたちは地域の宝でしたから親はもちろん、学校でも地域でも「教育の大切  
さ」や「子どもたちへの期待」も大きかったのです。日本でも貧富の格差がひろがるにつれ  
社会に心よりお金が尊重されるようになりました。将来を担う子どもを育てるといふ最も大  
切な取り組みさえも後回しにされている！その事に対する警告にもとれる子どもたちから  
のサインが増えてきている事に危機感を覚えずにはいられません。

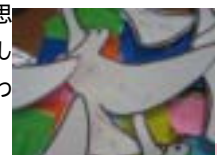
YMCA健康福祉専門学校  
校長 小林 一郎



川口アイさんと川口知行さん

### 戦争と平和

11月7日に「平和を考える会」として、3名の戦争経験者からお話を聞き、平和について考  
える会を行いました。終戦から61年、「戦争」と聞いても遠い国の話のように聞こえるかも  
しれません。しかし実際に経験した方のお話は、テレビや活字として見聞きするものより  
ずっと心に響くものでした。川口アイさんは岡山での空襲の体験をお話くださいました。空  
襲の夜、2人の子どもの命は自分が守らなければ、と近くの防空壕へ逃げようとしたが入  
れず、子どもたちをつれてひたすら遠くへ逃げたそうです。しかし翌朝、その防空壕は壊れ  
死体でいっぱいになっていました。「自分の子、孫には絶対にあんな思  
いをさせたくない。戦争はあってはならない。」と力強くおっしゃいました。  
私たちは戦争のことを知り、平和はただそこにあるのではなく、わ  
たしたちが創るものであることを忘れてはいけませんね。





第1チェックポイント、まだまだ元気な福祉スポーツ科の1年生

## 本厚木から江ノ島まで！30kmチャリティーウォーキング

学校から相模川の河川敷にでて川を下り、柳島から海岸沿いを歩いて江ノ島東浜海岸まで、およそ30kmの道のりを歩くチャリティーウォーキング大会が11月2日に行われました。将来、福祉の現場で働くことをめざす学生にとって自分だけができればよいというのではなく、仲間と助け合っていくこと、励ましあうことの大切さを知り、最後まで一緒に歩きとおすことを目標にしています。運営は学生の実行委員を中心に進めていきます。6～8名のグループごとに出発し、途中のチェックポイントは必ずメンバー全員揃って通過することをルールにしています。お昼には、平塚の馬入橋付近で実行委

員の手作り弁当(お茶つき)を食べました。お弁当を集め、材料費を除いた¥63,887が国際・地域協力募金として充てられました。リタイアする学生も数名いましたが、早いグループは15:00ごろ、最後のグループも17:00にはゴールすることができました！

30Kmもの距離を歩く機会はなかなかありませんが、「大変」「疲れる」といった事だけでなく参加した1人1人が協力し合うこと、支えあうことの大切さを感じた一日でした。



閉会式は真っ暗になった東浜海岸で

「人に頼むことにためらいがあること、何気なく頼めないこと、日本という国はまだまだだなと感じました」  
(特別公演・感想より)

## 「子育て」あなたはどのように考えますか？

10月28日に厚木市総合福祉センターで、神奈川県主催による新しい条例制定のためのフォーラムが行われました。この条例制定のために自主企画調査が実施されたのですが、この調査に健康福祉科の1年生3名が参画しました。

「子どもを持ちたい！子育てに興味がある！」と考えることは、少子化の進むこの社会では、とても大切なことですね。委員会に参加していた3名の学生のいる健康福祉科では、保育士、社会福祉士になるための学びをしています。「若者」

として、そして「子育てを支援する福祉」を学ぶ者としていろいろと考える機会となりました。ちなみに、調査結果(アンケート調査)を見たところ、

男女とも7～8割が「育児休業」に「興味あり」

女性は「育児は面倒ではない」かつ「育児休業に関心あり」の回答が圧倒的。約2/3の男性は育児に消極的ではない、育児に対する興味が向上しているなどがありました。

皆さんはどうですか？

## バリアフリーを考える

11月14日、社会福祉現場実習指導の授業で、特別公演が行われました。お話しくださった赤瀬さんは、高校生のときのスポーツ事故が原因で頸椎を損傷し、以来電動車椅子で生活をしています。当日は障がい者の視点で見た不便さを自分の体験を交えてお話しくださいました。コミュニケーションのお話で「心と笑顔と積極性があっていい」とおっしゃったのが印象的でした。参加した介護福祉科の1年生は「私は障がいのある方と接する際には、相手にとっては迷惑なほど気を遣ってしまいます。しかしそれは心から

の対応ではないと思いました。」「障がい者だからではなく、誰かができないことがあるなら手を差しのべる気持ちをもっていたいと思います。」などの感想を聞かせてくれました。大阪や東京で個展の経験もある赤瀬さんの描いた絵の1つに、ふくろうが「愛」という字に座り羽根で包んでいる様子がありました。とても温かく、たくさんの元気をいただきました。



赤瀬さんの洋服にはたくさんの紐がついていました。不自由な手でファスナーを上げ下ろしするためです。



何枚もの絵を見せてくれました。

## YMCA祭が盛大に行われました

11月23日(祝)に、厚木YMCA祭を行いました。これはYMCAの活動の1つでもある「国際・地域協力募金」のために実施しています。学生委員を中心に各クラスでは模擬店やゲームコーナーなどを行い、クラスの親睦を深め、楽しみながらも国際理解を進める一日となりました。ボランティアの方を含め、たくさんの人たちに支えられたYMCA祭、この日集まった募金は251,029円となり、タイで買春から保護された子どもたちやエイズ孤児や、ミャンマーで貧困などの理由から十分な治療を受けられない人たちの医療や教育、自立支援のために使用されます。



## 就職内定報告！

今年度卒業を迎える学生たちは、就職活動の真っ最中です。福祉施設からの求人票は、昨年の同じ時期に比べて多くなっているようです。自分の将来を一生懸命考えながら、スーツを着て頑張っている学生さんたちから、早くうれしい報告が届いています。今年も就職率100%になることを祈って応援していきます！

介護福祉科2年

坂牧 恵さん

取得見込資格 介護福祉士、社会福祉主事任用資格

就職内定先 特別養護老人ホーム希望苑

健康福祉科3年

竹原 由晃さん

取得見込資格 保育士、幼稚園教諭2種、社会福祉主事任用資格

就職内定先 厚木市(保育士)

介護の現場で働く人との出会いをきっかけに、「介護福祉士になりたい」と考えるようになり専門学校へ入学しました。念願の高齢者施設に就職の内定をいただき安心していきます。実習を通して、明るさと配慮が必要と実感。学校で大切にしている4つの価値(Caring/Honesty/Respect/Responsibility)の重要性を本当の意味で知ったと思います。学校生活でたくさんの友達や先生に支えてもらったように、施設でたくさんの人の心の支えになれるよう頑張ります。



入学前に保育園で働いていましたが、きちんと勉強して資格を取り、保育士になることをめざして入学しました。厚木市の公務員試験は筆記試験1回、面接・小論文が1回。筆記試験の準備は大変でしたが、担任の先生に支えられ頑張りました。面接では、保育だけでなく社会福祉の学びを活かし、地域福祉の核となる園作りをしたいとアピール！今回採用見込の9~10名のうち男性は2名(2名ともYMCAの学生です)。将来は児童福祉課のトップになって自分の理想とする保育園を作ります！





## これからのカレッジ・インと入試

10月からはじまった2007年度生の入学試験。すでに5回まで終了し、たくさんの方たちが合格しています。YMCA健康福祉専門学校では3月まで入試を行いますが、入試ごとに定員は少なくなっていきます。YMCAに興味を持ってくれた人、入試に不安のある人は是非早めにカレッジ・インにお越しください。将来のこと、資格のこと、お金のこと、何でも相談してください。YMCAと一緒に考えます。

### 2006年 12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	★
	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24		26	27	28	29	30
31						

### 2007年 1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	★
14	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



入試 12/10、1/21



カレッジ・イン 12/9、1/13 9:30~15:30



## YMCA健康福祉専門学校

福祉スポーツ科  
健康福祉科  
介護福祉科

〒243-018  
厚木市中町4-16-19

電話 046-223-1441

FAX 046-223-2101

Email: [ymkenko@yokohama-ymca.or.jp](mailto:ymkenko@yokohama-ymca.or.jp)

HP: <http://www.yokohamaymca.ac.jp/health/>



小田急線本厚木駅から徒歩5分  
本厚木駅周辺にはミロードをはじめたくさんのお店もあり便利です。有名ラーメン店もありますよ！

みんなでうたおうクリスマス！  
12月16日(土) 18:00  
本厚木駅ミロード前に集合！



### Realize your dream!

~地域福祉をささえるのはあなたです！~

YMCAではさまざまな活動を通して次のことを学びます。

- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「家族、地域のひとりひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心と体を育むこと」

そしてこれらを実現するために、次のことを大切にします。

- 「Caring(思いやり)」「Honesty(誠実さ)」
- 「Responsibility(責任感)」「Respect(尊敬心)」

YMCA健康福祉専門学校では、カリキュラムや学校行事を通じて4つの大切な価値を意識する機会を取り入れています。将来、福祉・保育・スポーツの現場で活躍する学生のみなさんに、他者への思いやりの心を持ち、相手を敬い、自分の行動に責任を持ち、誠実に取り組んでいく専門職になってほしいと願っています。